

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020 年 4 月 1 日

都道府県知事 殿

病院名 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院
開設者 病院長 内藤 浩 印

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－から－5－まで及び別紙 1 については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・ 項目番号 1 から 25 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 26 から 36 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書
 ー 1 ー

病院施設番号：
 031345
 臨床研修病院の名称：
 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院
 記入日：西暦 2020 年 4 月 1 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	031345		臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 群馬中央病院 番号 031345
作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヒラカタ ヤスオ 氏名（姓） 平方 （名） 康夫		役職 総務企画課長補佐 （内線 2350 ） （直通電話（027） 221 - 8165 ） e-mail：rinshou@gunma.jcho.go.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）	
1. 病院の名称 （基幹型、協力型記入）	フリガナ トクリツギョウセイクジンチイリョウキノウスインキョウノマチュウオウヒョウイン 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院			
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒 371-0025 （群馬 都・道・府（県）） 前橋市紅雲町一丁目7番13号 電話：（027）221-8165 F A X：（027） 224-1415 二次医療圏 の名称： 前橋保健医療圏			
3. 病院の開設者の氏名（法 人の名称） （基幹型・協力型記入）	フリガナ トクリツギョウセイクジンチイリョウキノウスインキョウ 独立行政法人地域医療機能推進機構			
4. 病院の開設者の住所（法 人の主たる事務所の所在 地） （基幹型・協力型記入）	〒108-0074 （東京（都）・道・府・県） 港区高輪三丁目22番12号 電話：（03）3445-0800 F A X：（03） 3445-4781			
5. 病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	フリガナ ナイトウ 姓 内藤		ヒロシ 姓 浩	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 （基幹型記入）	＊ 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。			
7. 病院群の構成等 （基幹型記入）	＊ 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。			
8. 病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http://gunma.jcho.go.jp/			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：031345
 臨床研修病院の名称：独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）		常勤： 67 名、非常勤（常勤換算）： 11.3 名 計（常勤換算）：78.3 名、医療法による医師の標準員数：28.94 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2020 年 2 月 10 日、告示番号：第 128-28 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 （ 53.60 ） m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 5,318 件（うち診療時間外： 4,491 件） 1 日平均件数： 14.5 件（うち診療時間外： 12.3 件） 救急車取扱件数： 1,831 件（うち診療時間外： 1,005 件）
	診療時間外の勤務体制	医師：2～5 名、看護師及び准看護師：2～3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無） 外科系 (1) 有 0. 無） 小児科 (1) 有 0. 無） その他（整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、消化器内科）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）		1. 一般： 333 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）		1. 一般： 11.4 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）		正常分娩件数： 308 件、異常分娩件数： 264 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数	前年度実績： 1 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 1 件、今年度見込： 2 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 （ _____ ） 大学、（ _____ ） 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舍及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舍	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： 27,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	(1) 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ	（ 68.00 ） m ²
	医学図書数	国内図書： 1,391 冊、国外図書： 39 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 157 種類、国外雑誌： 27 種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース ((1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ ((1) 有 0. 無)、 その他（医中誌とメディカルオンラインは利用可能 教育用コンテンツはオンラインでの教育ツール） 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ((1) 有 0. 無)、 その他（ _____ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 031345

臨床研修病院の名称： 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

[illegible]

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 031345

臨床研修病院の名称： 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

[illegible]

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 031345 臨床研修病院の名称： 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：＊ 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2020 年 4 月 1 日)	
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ ユサ カヅヒサ	
		氏名(姓) 湯浅 氏名(姓) 湯浅	
		所属 役職 消化器内科 消化器内科部長	
		(副プログラム責任者) 1. 有(名) 0. 無	
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入	
32. インターネットを用いた評価システム		1. 有(EP0C ・その他()) 0. 無	
33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2021 年 4 月 1 日	
34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	2. 病院独自の処遇とする。	
	研修手当	1. 常勤 2. 非常勤	
		一年次の支給額(税込み) 基本手当／月(452,400 円) 賞与／年(780,000 円)	一年次の支給額(税込み) 基本手当／月(452,400 円) 賞与／年(780,000 円)
		時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間(8：30 ～17：15) 24 時間表記 休憩時間(12：00～13：00)	
		時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無	
	休暇	有給休暇(1 年次： 20 日、2 年次： 20 日) 夏季休暇 1. 有 0. 無 年末年始 1. 有 0. 無 その他休暇(具体的に： 規程による年次休暇、特別休暇)	
	当直	回数(約 3 回／月)	
	研修医の宿舍(再掲)	1. 有(単身用： 戸、世帯用： 戸) 0. 無(住宅手当： 27,000 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室(再掲)	1. 有(1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険(組合管掌健康保険)	
		公的年金保険(厚生年金保険)	
		労働者災害補償保険法の適用 1. 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 0. 無)	
雇用保険 1. 有 0. 無			
健康管理	健康診断(年 1 回) その他(具体的に)		
医師賠償責任保険の扱い	病院において加入(1. する 0. しない) 個人加入 1. 強制 0. 任意		
外部の研修活動	学会、研究会等への参加 1. 可 0. 否		
	学会、研究会等への参加費用支給の有無 1. 有 0. 無		
35. 研修医手帳 (基幹型記入)		1. 有 0. 無	
36. 連携状況 (基幹型記入)		＊ 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号：031345
 臨床研修病院の名称：独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※			
2 4 . 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）		
			2. 作業療法士： 8 名（常勤： 7 名、非常勤： 1 名）		
			3. 臨床心理技術者： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）		
			9. その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）		
2 5 . 第三者評価の受審状況 (基幹型記入)			①. 有 （評価実施機関名：日本医療機能評価機構（2016 年 3 月 4 日）） 〇. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。		
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。					
2 6 . 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： 群馬中央病院初期臨床研修小児科・産婦人科重点プログラム プログラム番号：031345303		
2 7 . 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次： 2 名、2 年次： 2 名		
2 8 . 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 伊藤 マサヒロ 氏名（姓） (名) 伊藤 理廣		
			所属 産婦人科 役職 副院長兼医務局長兼リプロダクションセンター長		
			電話：(027) 221-8165 F A X：(027) 224-1415		
			e-mail：rinshou@gunma.jcho.go.jp		
			URL：http://gunma.jcho.go.jp		
	資料請求先		住所 〒371-0025 (群馬 都・道・府・県) 前橋市紅雲町一丁目 7 番 13 号		
			担当部門	担当者氏名 フリガナ ハヤカ マサ 姓 早川 名 健夫	
			電話：(027) 221-8165 F A X：(027) 224-1415		
			e-mail：rinshou@gunma.jcho.go.jp URL：http://gunma.jcho.go.jp/		
	募集方法			①. 公募 2. その他（具体的に： ）	
応募必要書類 (複数選択可)			①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）		
選考方法 (複数選択可)			③. 面接 ④. 筆記試験 その他（具体的に：小論文 ）		
募集及び選考の時期			募集時期： 7 月 1 日頃から 選考時期： 7 月 25 日頃から		
マッチング利用の有無			①. 有 〇. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 031345

臨床研修病院の名称： 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

２ ９． 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：＊ 別紙３に記入 (作成年月日：西暦 2020 年 4 月 1 日)		
３ ０． プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)		(プログラム責任者) フリガナ ｲﾄｳ ﾏｻﾋﾛ 氏名 (姓) 伊藤 氏名 (名) 理廣 所属 産婦人科 役職 副院長兼医務局長兼リプロダクションセンター長 (副プログラム責任者) １. 有 (名) 〇. 無		
３ １． 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等 (協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。) について氏名等を記入してください。		＊ 別紙４に記入		
３ ２． インターネットを用いた評価システム		①. 有 (・EPOC ・その他 ()) 〇. 無		
３ ３． 研修開始時期 (基幹型記入)		西暦 2021 年 4 月 1 日		
３ ４． 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	１. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。		
	常勤・非常勤の別	②. 病院独自の処遇とする。 ①. 常勤 ２. 非常勤		
	研修手当	一年次の支給額 (税込み) 基本手当／月 (452,400 円) 賞与／年 (780,000 円)	二年次の支給額 (税込み) 基本手当／月 (487,200 円) 賞与／年 (840,000 円)	
		時間外手当： ①. 有 〇. 無 休日手当： １. 有 ②. 無		
	勤務時間	基本的な勤務時間 (8:30 ～17:15) 24 時間表記 休憩時間 (12:00～13:00) 時間外勤務の有無：①. 有 〇. 無		
	休暇	有給休暇 (１年次： 20 日、２年次： 20 日) 夏季休暇 ①. 有 〇. 無 年末年始 ①. 有 〇. 無 その他休暇 (具体的に：規程による年次休暇、特別休暇)		
	当直	回数 (約 3 回／月)		
	研修医の宿舍 (再掲)	１. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸) ②. 無 (住宅手当： 27,000 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「〇」と記入してください。		
	研修医室 (再掲)	①. 有 (1 室) 〇. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。		
	社会保険・労働保険	公的医療保険 (組合管掌健康保険) 公的年金保険 (厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 ①. 有 〇. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用 (１. 有 ②. 無) 雇用保険 ①. 有 〇. 無		
		健康管理	健康診断 (年 1 回) その他 (具体的に)	
		医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (１. する ③. しない) 個人加入 ①. 強制 〇. 任意	
		外部の研修活動	学会、研究会等への参加 ①. 可 〇. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無 ①. 有 〇. 無	
	３ ５． 研修医手帳 (基幹型記入)		①. 有 〇. 無	
３ ６． 連携状況 (基幹型記入)		＊ 様式 6 に記入		

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- (4)「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 \text{（新入院患者数} + \text{退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷ 10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷ 100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院（群馬県）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
				群馬県	前橋保健医療圏		群馬大学医学部附属病院 （病院施設番号： 030112 ）		群馬県	前橋保健医療圏		神岡産婦人科医院 （病院施設番号： 086240 ）		群馬中央病院初期臨床研修一般プログラム	5
群馬県	前橋保健医療圏	独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院 （病院施設番号： 031345）		群馬県	前橋保健医療圏		赤城病院 （病院施設番号： 040006 ）		群馬県	前橋保健医療圏		医療法人幸等会すがの医院 （病院施設番号： 096613 ）		群馬中央病院初期臨床研修小児・産婦人科プログラム	2
				東京都	区東部保健医療圏		JCHO東京城東病院 （病院施設番号： 157825 ）		群馬県	前橋保健医療圏		医療法人 伊藤内科医院 （病院施設番号： 096615 ）			
							（病院施設番号： ）		群馬県	前橋保健医療圏		医療法人 ほんま小児科 （病院施設番号： 096617 ）			
							（病院施設番号： ）		群馬県	前橋保健医療圏		中村外科医院 （病院施設番号： 096621 ）			
							（病院施設番号： ）		群馬県	前橋保健医療圏		たき医院 （病院施設番号： 096623 ）			
							（病院施設番号： ）		群馬県	前橋保健医療圏		ベル小児科クリニック （病院施設番号： 137351 ）			
							（病院施設番号： ）		群馬県	前橋保健医療圏		かなざわ小児科クリニック （病院施設番号： 191132 ）			
							（病院施設番号： ）					（病院施設番号： ）			
							（病院施設番号： ）					（病院施設番号： ）			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

JCHO東京城東病院とは同じJCHOの施設であり、密に連携を取ることが可能です。
JCHO東京城東病院のある区東部医療圏は、人口10万人あたりの医師数は211.96人と全国平均を下回っており、地域の患者、特に高齢者の急性期医療や内科系救急を提供する施設が乏しい状況です。そのような地域で東京城東病院では総合内科を立ち上げ、地域の内科系の急性期医療を幅広く受け入れており、現在はJCHOグループのミッションである地域医療、総合診療のフラッグシップモデルの一つとなっております。
以上のことから、JCHO東京城東病院で研修を行うことで、多くの症例に関わることが可能であり、総合内科的な知識や経験を身に着けることができると考えられます。
さらに基幹病院であるJCHO群馬中央病院とは新幹線を使用し、2時間半弱で到着するため実際のアクセスは良好です。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 1 回）

病院施設番号：031345

臨床研修病院の名称：群馬中央病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イトウ	マサヒロ	群馬中央病院	副院長長兼リプロダクションセンター長	初期臨床研修管理委員会委員長 プログラム責任者 (小児・産婦人科重点プログラム)
姓 伊藤	名 理廣			
フリガナ タシロ	マサヒコ	群馬中央病院	名誉院長	
姓 田代	名 雅彦			
フリガナ ナイトウ	ヒロシ	群馬中央病院	院長兼消化器・肛門疾患センター 長兼地域医療連携センター長	
姓 内藤	名 浩			
フリガナ テラウチ	マサノリ	群馬中央病院	副院長兼整形外科主任部長兼リ ハビリテーション部長	
姓 寺内	名 正紀			
フリガナ イマイ	クニヒコ	群馬中央病院	医務局長兼健康管理センター長 兼内科主任部長	
姓 今井	名 邦彦			
フリガナ ユアサ	カズヒサ	群馬中央病院	消化器内科部長	初期臨床研修管理委員会副委員長 プログラム責任者(一般プログラム)
姓 湯浅	名 和久			
フリガナ サクライ	シンジ	群馬中央病院	臨床病理診断科主任部長兼臨床 検査部長	
姓 櫻井	名 信司			
フリガナ トミオカ	アキヒロ	群馬中央病院	麻酔科主任部長	
姓 富岡	名 昭裕			
フリガナ コウノ	ミユキ	群馬中央病院	小児科部長	
姓 河野	名 美幸			
フリガナ リュウザキ	ケイイチロウ	群馬中央病院	皮膚科部長	
姓 龍崎	名 圭一郎			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 1 回）

病院施設番号：031345

臨床研修病院の名称：群馬中央病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ヒラサワ サトシ		群馬中央病院	放射線科部長兼放射線部長	
姓 平澤	名 聡			
フリガナ クドウ タケシ		群馬中央病院	耳鼻咽喉科部長	
姓 工藤	名 毅			
フリガナ アクザワ ノブヒロ		群馬中央病院	内科医長	
姓 阿久澤	名 暢洋			
フリガナ サイトウ カナ		群馬中央病院	外科医長	
姓 斎藤	名 加奈			
フリガナ スズキ タツオキ		群馬中央病院	薬剤部長	
姓 鈴木	名 達宙			
フリガナ ツボイ チエミ		群馬中央病院	看護部長	
姓 坪井	名 ちえみ			
フリガナ コヌマ クミ		群馬中央病院	教育看護師長	
姓 小沼	名 久美			
フリガナ ヒラカタ ヤスオ		群馬中央病院	総務企画課長補佐	事務部門の責任者
姓 平方	名 康夫			
フリガナ クリハラ ヒサエ		群馬中央病院	事務員	
姓 栗原	名 久恵			
フリガナ オオシマ キョヒロ		群馬大学医学部附属病院	臨床研修センター長	プログラム責任者
姓 大嶋	名 清宏			
フリガナ ナンゴウ エিশュウ		東京城東病院	医長	研修実施責任者
姓 南郷	名 栄秀			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 1 回）

病院施設番号：031345

臨床研修病院の名称：群馬中央病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ セキグチ ヒデノリ	赤城病院	院長	研修実施責任者
姓 関口 名 秀文			
フリガナ イトウ ユウイチ	伊藤内科医院	院長	研修実施責任者
姓 伊藤 名 雄一			
フリガナ ホンマ テツオ	ほんま小児科	院長	研修実施責任者
姓 本間 名 哲夫			
フリガナ ナカムラ ミツオ	中村外科医院	院長	研修実施責任者
姓 中村 名 光郎			
フリガナ タキザワ ヤスシ	たき医院	院長	研修実施責任者
姓 滝沢 名 康			
フリガナ スズキ マサト	ベル小児科クリニック	院長	研修実施責任者
姓 鈴木 名 雅登			
フリガナ スガノ ジンペイ	すがの内科医院	院長	研修実施責任者
姓 菅野 名 仁平			
フリガナ カナザワ タカシ	かなざわ小児科クリニック	院長	研修実施責任者
姓 金澤 名 崇			
フリガナ カミオカ キヨシ	神岡産婦人科医院	院長	研修実施責任者
姓 神岡 名 潔			
フリガナ	紅雲町自治会	会長	外部委員
姓			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：群馬中央病院

病院施設番号：031345

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 (部 門)	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科 目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		整 形 外 科	皮 膚 科	眼 科	病 理 診 断 科	放 射 線 科	耳 鼻 咽 喉 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	1720	(5318)	1466		1653	1202 (572)	()			1056	34	394			407	10335
年間新外来患者数	3873		1522		3168	1375				1938	423	447			868	13614
1 日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	146. 2 (240)		56. 4 (240)	()	82. 9 (240)	112. 7 (240)	()	()	()	73. 0 (240)	18. 4 (240)	37. 9 (240)	()	()	18. 6 (240)	
平均在院日数	17. 6		9. 6		6. 2	10. 1				24. 3	17. 6	1. 1			10. 3	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	14 (12)	()	8 (6)	4 (4)	8 (3)	5 (3)	()	()	()	6 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (2)	52 (37)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 3 年度分) 群馬中央病院初期臨床研修 一般プログラム								臨床研修病院の名称：群馬中央病院						
								病院施設番号：031345						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
群馬中央病院	内科	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	
群馬中央病院	救急部門						1	1	1	1	1	1	2	2
群馬中央病院	外科	1	1	1	1	1								
群馬中央病院	小児科	1	1	1	1	1								
群馬中央病院	産婦人科						1	1	1	1	1			
群馬大学医学部附属病院	内科								1	1	1			
群馬大学医学部附属病院	外科											1	1	1
群馬大学医学部附属病院	麻酔科		1	1										
群馬大学医学部附属病院	小児科											1	1	
群馬大学医学部附属病院	産婦人科			1	1	1								
群馬県済生会前橋病院	小児科								1	1				
渋川医療センター	産婦人科													1
老年病研究所附属病院	外科						1			1				
老年病研究所附属病院	小児科							1			1			
老年病研究所附属病院	産婦人科								1			1		

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 4 年度分) 群馬中央病院初期臨床研修 一般プログラム								臨床研修病院の名称：群馬中央病院						
								病院施設番号：031345						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
群馬中央病院	内科	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	
群馬中央病院	救急部門						1	1	1	1	1	1	2	2
群馬中央病院	外科	1	1	1	1	1								
群馬中央病院	小児科	1	1	1	1	1								
群馬中央病院	産婦人科						1	1	1	1	1			
群馬大学医学部附属病院	内科								1	1	1			
群馬大学医学部附属病院	外科											1	1	1
群馬大学医学部附属病院	麻酔科		1	1										
群馬大学医学部附属病院	小児科											1	1	
群馬大学医学部附属病院	産婦人科			1	1	1								
群馬県済生会前橋病院	小児科								1	1				
渋川医療センター	産婦人科													1
老年病研究所附属病院	外科						1			1				
老年病研究所附属病院	小児科							1			1			
老年病研究所附属病院	産婦人科								1			1		

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 031345302

病院施設番号： 031345

臨床研修病院の名称：地域医療機能推進機構群馬中央病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 群馬中央病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		群馬中央病院初期臨床研修 一般プログラム			
2. 研修プログラムの特色		地域医療と高度医療双方を備えた大都市の一般総合病院で、次世代を担う医療人の育成を目指しています。少数精鋭主義で、多くの医療スタッフと顔の見える研修が行え、一人ひとりに行き届いたきめ細かい指導体制をとっています。			
3. 臨床研修の目標の概要		将来の専門性にかかわらず、臨床研修医として求められる初期治療、救急医療などの基本的知識及び技術（プライマリケア）を習得するだけでなく「思いやり」と「患者の立場に立って」診療ができ、社会人としても尊敬される医師の養成を目的としています。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 後期研修あり			
5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） ＊ 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 ＊ 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 ＊ 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	031345	群馬中央病院	24週	2週
	救急部門	031345	群馬中央病院	12週	
	地域医療	096613	すがの内科医院	4週	一般外来 1週 在宅診療 0.5週
		096615	医療法人伊藤内科医院		
		096617	ほんま小児科		
		096621	中村外科医院		
		096623	たき医院		
		137351	ベル小児科クリニック		
			かなざわ小児科クリニック		
	外科	031345	群馬中央病院	4週	1週
	小児科	031345	群馬中央病院	4週	
	産婦人科	031345	群馬中央病院	4週	
	精神科	031345	赤城病院	4週	
	選択科目	循環器内科	031345	群馬中央病院	
消化器内科		031345	群馬中央病院		週
糖尿病		031345	群馬中央病院		週
神経内科		031345	群馬中央病院		週

選択科目	小児科	031345	群馬中央病院	48 週	週
	外科	031345	群馬中央病院		週
	整形外科	031345	群馬中央病院		週
	産婦人科	031345	群馬中央病院		週
	眼科	031345	群馬中央病院		週
	皮膚科	031345	群馬中央病院		週
	放射線科	031345	群馬中央病院		週
	麻酔科	031345	群馬中央病院		週
	病理診断科	031345	群馬中央病院		週
	腎臓内科	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	血液内科	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	救命・救急センター	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	集中治療部	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	皮膚科	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	泌尿器	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	耳鼻咽喉科	030112	群馬大学医学部附属病院		週
	総合内科	157825	JCHO 東京城東病院		週

基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 72 週

臨床研修施設での研修期間 最大 12 週

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修として
みなす休日・夜間の当直回数・・・約 60 回または 3 回/月行う。

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療、ただし循環器内科、消化器内科、糖尿
病内科、神経内科にて臨床推論が可能であり、一般外来に相当しうる外来時において一般外来研修を実
施することもある。

必修科目・・・内科、救急部門、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科

 ※内科は 8 週を 1 タームとして、内科Ⅰ（循環器）、内科Ⅱ（消化器内科）、内科Ⅲ（神
 経内科）、内科Ⅳ（糖尿病）の 4 タームうち 3 タームを選択する。

 ※救急部門研修は、1 年次に 8 週、2 年次に 4 週と分けて研修を行う。また、最初の 4 週
 は麻酔科にて救急研修を行う。

選択科目・・・研修医の希望や将来の専門性、研修到達度に合わせて研修科(内科・外科・小児科・産婦
人科・麻酔科・循環器内科・消化器内科・糖尿病・神経内科・整形外科・眼科・皮膚科・
放射線科・病理診断科・皮膚科・救命/救急センター・腎臓内科・血液内科・泌尿器科・
耳鼻咽喉科・総合内科)を選択し、最短 4 週単位で研修可能とする。救命・救急センター、
腎臓内科・血液内科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科においては群馬大学附属病院、総合
内科は JCHO 東京城東病院で研修する。

 *皮膚科においては群馬中央病院または群馬大学医学部付属病院を選択できる。

研修科目においては、研修を希望しない科目であっても、到達目標達成のため研修しても
らうことがある。

C P C は基幹型病院である群馬中央病院で行う。

臨床研修病院の名称:群馬中央病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名:群馬中央病院

プログラム番号

(No.1)

[illegible]

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 031345303

病院施設番号： 031345

臨床研修病院の名称： 地域医療機能推進機構群馬中央病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 群馬中央病院

プログラム番号、病院

施設番号及び臨床研修病院群番号は、既を取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	群馬中央病院初期臨床研修 小児科・産婦人科重点プログラム				
2. 研修プログラムの特色	将来周産期を中心とする小児科医、産婦人科医を目指す医師を育成するためのプログラムである。小児科・産婦人科はともに密な連携を図りながら、シームレスな診療を提供している。小児科は症例数も多く、一般小児だけでなく循環器や神経発達、新生児、アレルギーの専門的指導を受けられる体制となっている。産婦人科については県内でもトップクラスの分娩数であり、総合病院では数少ない生殖医療を学ぶことができる。また、思春期、更年期、性同一性障害など、どの年代の女性・分野についても網羅的に経験できる研修となっている。				
3. 臨床研修の目標の概要	全人的医療を基本とし、チームの一員として患者の立場に立った診療を行う。将来志望する科により、それぞれ研修期間が設定できる。地域周産期母子センターである当院で妊娠前からの不妊治療から始まりその後の妊娠管理、出産、異常妊娠、合併症妊娠、などの診療の基礎を身につける。群馬大学医学部附属病院 NICU で病的新生児の管理を経験し、当院で一般小児や地域医療などさまざまなタイプの小児科診療、こどもの心の医療など多様な小児科専門診療、小児外科を学ぶ。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 後期研修あり				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	031345 群馬中央病院	24週	2週	
	救急部門	031345 群馬中央病院	12週		
	地域医療	096613	すがの内科医院	4週	一般外来 1週 在宅診療 0.5週
		096615	医療法人伊藤内科医院		
		096617	ほんま小児科		
		096621	中村外科医院		
		096623	たき医院		
		137351	ベル小児科クリニック		
		191132	かなざわ小児科クリニック		
		086240	神岡産婦人科医院		
外科	031345 群馬中央病院	4週	1週		

		小児科	031345	群馬中央病院	4 週	
		産婦人科	031345	群馬中央病院	4 週	
		精神科	031345	赤城病院	4 週	
	病院で 定めた 必修 科目	小児科[NICU]	030112	群馬大学医学部附属病院	8 週	4 週
		周産期(小児科・産婦人科)	031345	群馬中央病院	20-24 週	4 週
	選択 科目	循環器内科	031345	群馬中央病院	16-20 週	4 週
		消化器内科	031345	群馬中央病院		4 週
		糖尿病	031345	群馬中央病院		4 週
		神経内科	031345	群馬中央病院		4 週
		小児科	031345	群馬中央病院		4 週
		外科	031345	群馬中央病院		4 週
		整形外科	031345	群馬中央病院		4 週
		産婦人科	031345	群馬中央病院		4 週
		眼科	031345	群馬中央病院		4 週
		皮膚科	031345	群馬中央病院		4 週
		放射線科	031345	群馬中央病院		4 週
		麻酔科	031345	群馬中央病院		4 週
		病理診断科	031345	群馬中央病院		4 週
		救命・救急センター	030112	群馬大学医学部附属病院		4 週
		集中治療部	030112	群馬大学医学部附属病院		4 週
		泌尿器	030112	群馬大学医学部附属病院		4 週
		皮膚科	030112	群馬大学医学部附属病院		4 週
		耳鼻咽喉科	030112	群馬大学医学部附属病院		4 週

基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 64 週

臨床研修施設での研修期間 最大 12 週

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修として
みなす休日・夜間の当直回数・・・約 60 回または 3 回/月行う。

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療、ただし循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科にて臨床推論が可能であり、一般外来に相当しうる外来時において一般外来研修を実施することもある。

必修科目・・・内科、救急部門、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科

※内科は 8 週を 1 タームとして、内科Ⅰ（循環器）、内科Ⅱ（消化器内科）、内科Ⅲ（神経内科）、内科Ⅳ（糖尿病）の 4 タームうち 3 タームを選択する。

※救急部門研修は、1 年次に 8 週、2 年次に 4 週と分けて研修を行う。また、最初の 4 週は麻酔科にて救急研修を行う。

※小児科・産婦人科重点プログラムであることから 2 年次に群馬大学医学部付属病院の小児科にて NICU の研修を 8 週～12 週間行う。

※小児科・産婦人科重点プログラムであることから最初と最後の研修期間については希望する科（小児科または産婦人科）を 12～16 週間履修する。

選択科目・・・研修医の希望や将来の専門性、研修到達度に合わせて研修科（内科・外科・小児科・産婦人科・麻酔科・循環器内科・消化器内科・糖尿病・神経内科・整形外科・眼科・皮膚科・放射線科・病理診断科・皮膚科・救命/救急センター・耳鼻咽喉科・泌尿器科）を選択し、最短 1 ヶ月単位で研修可能とする。救命・救急センター・皮膚科・耳鼻咽喉科・泌尿器科においては群馬大学附属病院で研修する。

*皮膚科においては群馬中央病院または群馬大学医学部付属病院を選択できる。

研修科目においては、研修を希望しない科目であっても、到達目標達成のため研修してもらうことがある。

※C P Cは基幹型病院である群馬中央病院で行う。

臨床研修病院群名：群馬中央病院

(No. 1)

(No. 1)

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号：031345	臨床研修病院の名称：群馬中央病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：群馬中央病院

6. 研修スケジュール（一年次・ <u>二年次</u> ・いずれかに○）														プログラム番号	
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１														(No. 1)	
病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	１～ ４週	５～ ８週	９～ １２週	１１～ １６週	１７～ ２０週	２１～ ２４週	２５～ ２８週	２９～ ３２週	３３～ ３６週	３７～ ４０週	４１～ ４４週	４５～ ４８週	４９～ ５２週	
群馬中央病院	救急部門		1111	1111											
同 上	地域医療	2222													
同 上	小児科											1111	1111	1111	
同 上	産婦人科											1111	1111	1111	
群馬大学医学部附属病院	小児科 [NICU]					2222	2222								
同 上	選択科目							2222	2222	2222	2222				
同 上	外科				1111										

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号：031345 臨床研修病院の名称：独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講 習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
外科 救急部門	内藤 浩	群馬中央病院	院長兼外科主任部長兼消化 器・肛門疾患センター長兼地域医 療連携センター長	33	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、 外科専門医、消化器外科専門医、消化器病専 門医、消化器内視鏡専門医、胃腸科専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門 地域医療	今井 邦彦	群馬中央病院	健康管理センター長兼内科 主任部長	32	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、 循環器専門医、総合内科専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	根岸 真由美	群馬中央病院	糖尿病センター長兼病・内分 泌内科部長	32	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、総合内科 専門医、糖尿病専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	羽鳥 貴	群馬中央病院	循環器・内科部長	25	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、循環器専 門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	田嶋 久美子	群馬中央病院	糖尿病・内科部長	27	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、総合内科 専門医、糖尿病専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	阿久澤 暢洋	群馬中央病院	内科医長	24	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、総合内科 専門医、循環器専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	吉田 尊	群馬中央病院	循環器・内科医長	24	○	自衛隊中央病院絵印象研修指導医講習会、循 環器専門医、総合内科専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	大山 啓太	群馬中央病院	循環器・内科医長	16	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会	031345304 031345305	4
内科 救急部門	大沢 天使	群馬中央病院	神経内科医長	22	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会	031345304 031345305	4
内科 救急部門	湯浅 和久	群馬中央病院	消化器内科部長	22	○	（社）全国自治体病院協議会・（社）全国国民 健康保険診療施設協議会臨床研修指導医養成 講習会、肝臓専門医、消化器病専門医、消化 器内視鏡専門医	031345304 031345305	1、4
内科 救急部門	堀内 克彦	群馬中央病院	消化器内科医長	21	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、消化器病 専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	田原 博貴	群馬中央病院	消化器内科医長	16	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、消化器病 専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医	031345304 031345305	4
内科 救急部門	茂木 健太	群馬中央病院	消化器内科医長	30	○	（社）全国自治体病院協議会・（社）全国国民 健康保険診療施設協議会臨床研修指導医養成 講習会、消化器病専門医、消化器内視鏡専門 医	031345304 031345305	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科 救急部門	須永 康夫	群馬中央病院	小児科主任部長	35	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、小児科専門医、小児神経科専門医	031345304 031345305	4
小児科 救急部門	河野 美幸	群馬中央病院	小児科部長	26	○	日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会、小児科専門医、周産期専門医（小児科）	031345304 031345305	4
小児科 救急部門	水野 隆久	群馬中央病院	小児科医長	19	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、小児科専門医	031345304 031345305	4
外科 救急部門	福地 稔	群馬中央病院	外科主任部長	27	○	（社）全国自治体病院協議会・（社）全国国民健康保険診療施設協議会臨床研修指導医養成、消化器病専門医、消化器外科専門医	031345304 031345305	4
外科 救急部門	谷 賢実	群馬中央病院	外科部長	28	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、外科専門医	031345304 031345305	4
外科 救急部門	斎藤 加奈	群馬中央病院	外科医長	19	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、外科専門医、胃腸科専門医、消化器病専門医、消化器外科専門医	031345304 031345305	4
外科 救急部門	深澤 孝晴	群馬中央病院	外科医長	19	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、外科専門医、消化器病専門医	031345304 031345305	4
外科 救急部門	田部 雄一	群馬中央病院	外科医長	17	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、外科専門医、消化器病専門医	031345304 031345305	4
整形外科 救急部門	寺内 正紀	群馬中央病院	副院長兼整形外科主任部長 兼リハビリテーション部長	35	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、整形外科専門医	031345304 031345305	4
整形外科 救急部門	堤 智史	群馬中央病院	整形外科部長	28	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、整形外科専門医、脊椎脊髄病医	031345304 031345305	4
整形外科 救急部門	中島 飛志	群馬中央病院	整形外科医長	20	○	日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会、整形外科専門医、脊椎脊髄病医	031345304 031345305	4
産婦人科 救急部門	伊藤 理廣	群馬中央病院	副院長兼リプロダクション センター長	34	○	群馬大学医学部附属病院臨床研修指導医養成講習会、産婦人科専門医、生殖医療専門医	031345304 031345305	1、4
産婦人科 救急部門	太田 克人	群馬中央病院	産婦人科主任部長	32	○	社会保険病院等臨床研修指導医養成講習会、産婦人科専門医	031345304 031345305	4
産婦人科 救急部門	矢崎 淳	群馬中央病院	産婦人科医長	13	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、産婦人科専門医	031345304 031345305	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講 習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
病理診断科	櫻井 信司	群馬中央病院	病理診断科主任部長兼臨床 検査部長	29	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、病理専門 医、細胞診専門医	031345304 031345305	4
救急部門	富岡 昭裕	群馬中央病院	麻酔科主任部長	28	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、麻酔科専 門医、厚生労働省麻酔科標榜医	031345304 031345305	4
救急部門	高橋 淳子	群馬中央病院	麻酔科医長	19	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、麻酔科専 門医、集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標 榜医	031345304 031345305	4
救急部門	大川 牧生	群馬中央病院	麻酔科医長	17	○	群馬大学医学部附属病院臨床研修指導医養成 講習会、麻酔科専門医、集中治療専門医、厚 生労働省麻酔科標榜医	031345304 031345305	4
救急部門	川崎 雅一	群馬中央病院	麻酔科医長	14	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、麻酔科専 門医、集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標 榜医	031345304 031345305	4
放射線科	平澤 聡	群馬中央病院	放射線科部長兼放射線部長	20	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、放射線診 断専門医、IVR 専門医	031345304 031345305	4
耳鼻咽喉科	工藤 毅	群馬中央病院	耳鼻咽喉科部長	20	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、耳鼻咽喉 科学会専門医	031345304 031345305	4
耳鼻咽喉科	内山 通宏	群馬中央病院	耳鼻咽喉科医長	17	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会	031345304 031345305	4
眼科	前嶋 京子	群馬中央病院	眼科医長	22	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、日本眼科 学会専門医	031345304 031345305	4
皮膚科	龍崎 圭一郎	群馬中央病院	皮膚科部長	26	○	群馬県臨床研修指導医養成講習会、日本皮膚 科学会皮膚科専門医	031345304 031345305	4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。